

# 平成22年度

## 業務実施状況のあらまし

### 【水の交流】

連林でみなが積極的に各けしを推進し、水資源の活用を促進し、水質の向上を図る。



漁民の森林づくり  
(愛知森林管理事務所)

### 【木の交流】

生産者から消費者までの木を通じた交流を推進



地域材利用の推進  
(岐阜森林管理署 新庁舎)

### 【人の交流】

各地域の活動を連携させ、人の交流を推進



中学生による遊歩道へのチップ敷き  
(木曽森林管理署)

中部森林管理局は富山県、長野県、岐阜県、愛知県の森林243万haの約3割を占める66万haの国有林野を管理経営しています。開かれた「国民の森林」としての管理経営や民有林との連携を進めています。

### 平成22年度の主な取組事項

- 新たな政策課題への率先した取組
- 1. 国有林野の管理経営に関する基本方針に基づく管理経営の推進
- 2. 国有林野の維持及び保存
- 3. 国有林野の林産物の供給
- 4. 国有林野の活用
- 5. その他国有林野の管理経営
- 6. 国有林野の事業運営



平成23年9月

中部森林管理局



# ○ 新たな政策課題への率先した取組

## (1) 森林・林業の再生に向けた取組

「森林・林業再生プラン」（平成21年12月）及び同プランの実現に向けた具体的な方策をとりまとめた「森林・林業の再生に向けた改革の姿」（平成22年11月）を踏まえ、

- 地球温暖化の防止や生物多様性の保全等に向けた多様な森林づくりの推進
- 森林・林業の再生に向けた
  - ・ 搬出間伐と路網整備の加速化、国産材の安定供給体制の構築及び木材利用の拡大
  - ・ 森林共同施業団地の設定、人材育成のための研修フィールド・技術の提供など民有林との連携の推進

などに積極的に取り組むことが国有林に求められています。

中部森林管理局では、路網と林業機械を組み合わせた作業システムの普及・定着、森林施業の効率化、民有林との連携強化等に取り組みました。

### ア 低コスト・高効率作業システムの普及・定着

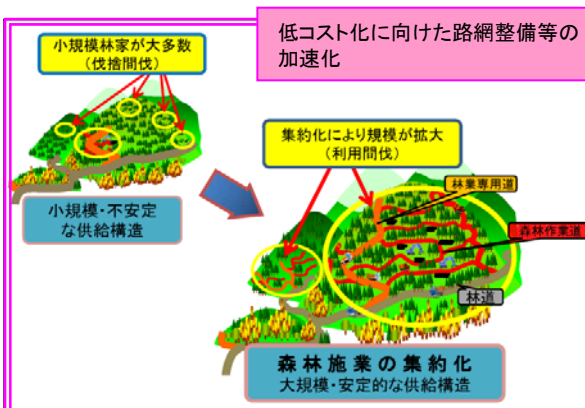
生産性の向上に向けた低コスト・高効率作業システムについて、地方自治体や林業事業体も参加の下、現地検討会を実施しました。

総勢約640名が参加し、同システムの普及・定着に努めました。

#### 高性能林業機械の活用と検討会の実施



かみむらえな  
場所：岐阜県恵那市上村恵那  
国有林 東濃森林管理署



### イ 木材の安定供給及び利用の推進

木材の安定供給に向け、間伐材の搬出・利用を推進しました。

需給動向等に応じた生産・販売を進めるとともに、一般材や低質材の利用拡大を図るため、需要者と協定を締結（システム販売）し、計画的な販売をしました。

#### 木材の安定供給



場所：長野県松本市  
ながわだいち  
奈川第一国有林 中信森林管理署



場所：長野県木曾郡木祖村  
数原土場 木曾森林管理署

### ウ 民有林・国有林が連携した計画的な森林整備の推進

森林施業の効率化に向け、民有林と国有林が連携して一体的に間伐等の森林整備に取り組む森林共同施業団地の設定を推進しました。

平成22年度は、岐阜県と当局の間で「岐阜県における健全で豊かな森林づくりの推進に関する覚書」を締結し、新たに高山市荘川町一色・山中山地域における森林整備推進協定を締結しました。

#### 高山市一色・山中山地域森林整備推進協定締結地の概要

##### 協定締結者

飛騨森林管理署長、一惣造林組合長、岐阜県飛騨農林事務所長、高山市長、(独)森林総合研究所森林農地整備センター岐阜水源林整備事務所長、(社)岐阜県森林公社理事長、飛騨高山森林組合代表理事組合長

##### 協定期間

平成23年4月1日～平成27年3月31日

※期間は、協定者の協議により延長できる。

●間伐等による森林整備の推進 (692ha)

●効率的な林業専用道等の整備 (14,840m)

●木材の安定的な供給 (18,300m<sup>3</sup>)

●一体的な林業専用道等の維持管理

●中間(共同)土場の有効活用

区分	面積(ha)
民有林	1,135
国有林	1,594
合計	2,729



## (2) 地球温暖化防止対策の推進

地球温暖化防止に向けた京都議定書における我が国の温室効果ガス削減目標6%のうち、1300万炭素トン（基準年排出量比3.8%）を森林による吸収量で確保することが目標とされ、国有林野事業においても目標の達成に向け多様で健全な森林の整備・保全や木材利用、国民参加の森林づくり等に率先して取り組みました。

### ア 森林吸収源対策の推進(間伐等森林整備の実施)

適切な森林経営による吸収量の確保に向け、間伐などの森林整備等を進めるとともに、間伐材の有効利用に積極的に取り組みました。

場所：長野県長野市  
ほしなやま  
保科山国有林  
北信森林管理署

間伐前



林内に光が入らず下草が生えない

#### 間伐の実施

間伐後



林内に光が差し込み下草が生え、土砂流失などが抑制される

### イ 木材利用の促進等

林道・治山事業において、積極的に木材を利用した工種・工法を採用し、木材利用の推進に努めました。

林業関係団体等と連携して管内各県・市町村などに対し、公共施設等への木材の積極的な利用等について要請しました。

平成22年10月に施行された「公共建築物等木材利用促進法」及び平成22年12月策定の「新農林水産省木材利用推進計画」に基づき、森林管理署庁舎において地域材を利用し木材の利用促進に率先して取り組むとともに、それを通じて地方公共団体や民間企業等に主体的な取り組みを促すなど木材利用の積極的な啓発に努めました。

地域材を利用した岐阜森林管理署新庁舎  
場所：岐阜県下呂市  
岐阜森林管理署

#### 治山事業での木材利用



場所：長野県長野市  
あさひやま  
朝日山国有林  
北信森林管理署

#### 木材利用促進要請活動



場所：岐阜県岐阜市  
岐阜県庁  
名古屋事務所

#### 庁舎等への木材利用



### (3) 生物多様性の保全

貴重な森林生態系等を国民共通の財産として適切に保全・管理するための取り組みを行いました。

#### ア 生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)での取組

今回の会議では森林を含む自然生息地の損失速度を少なくとも半減することや生物多様性の保全の確保などが盛り込まれた「愛知目標」、遺伝資源へのアクセスと利益配分に関する「名古屋議定書」が採択されました。また、サイドイベントとして、我が国の木の文化や森林における生物多様性の保全に向けた取り組み状況を報告するシンポジウムが行われました。

中部森林管理局では国有林の取り組みを紹介するブースへの資料提供、愛知県段戸国有林内「きららの森」において当局職員がガイドとなり、生物多様性確保に向けた森林の取扱いの紹介を行いました。

#### COP10での取組



私たちは応援します



場所：愛知県名古屋市 林野庁ブース  
名古屋事務所（上）  
愛知県北設楽郡設楽町 段戸国有林  
愛知森林管理事務所（下）

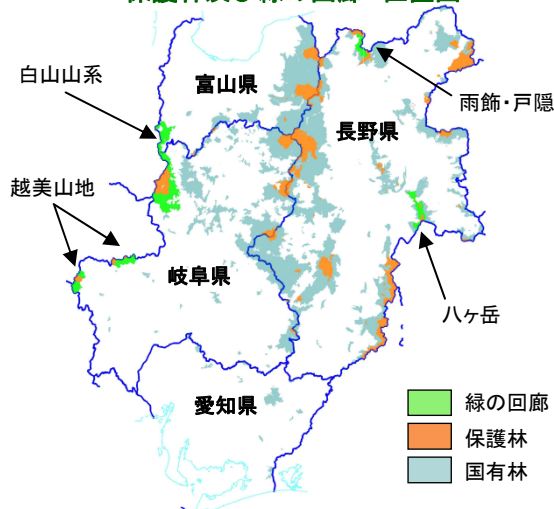
#### イ 保護林など優れた自然環境を有する森林の保全管理

保護林の適切な保全管理や機能評価のためのモニタリング調査（35箇所）を実施しました。

緑の回廊「雨飾・戸隠」「八ヶ岳」「越美山地」「白山山系」において、モニタリング調査を行いました。

木曾駒ヶ岳や雲ノ平における高山植物の復元活動や長野県西部地震災害復旧地における自然再生事業等をNPO、大学、地元関係者等と連携し、ボランティアの協力も得ながら実施しました。

#### 保護林及び緑の回廊 位置図



### (4) 国民の安全・安心の確保のための国土保全対策

大規模災害発生時は、ヘリコプターの活用等により、民有林とも連携して、調査や応急対策、復旧計画の策定、復旧事業の実施などに迅速に取り組みました。

#### ア 長野県北部地震発生時の長野県と連携した取組

3月12日に発生した長野県北部地震について、長野県と連携しヘリコプターによる現地調査を地震発生当日実施したほか、融雪による影響や余震による影響を確認するため、その後も繰り返し実施しました。

また、警戒体制や復旧計画を検討するため、専門家や長野県担当者とともに現地調査を実施するとともに、被災地へ支援物資等の搬送にも取り組みました。

#### ヘリを使用した現地調査



場所：長野県長野市

#### 長野県と合同現地調査



場所：長野県下水内郡栄村  
現地調査

# 1 国有林野の管理経営に関する基本方針に基づく管理経営の推進

## (1) 公益的機能の維持増進を旨とした管理経営

国土の保全等の公益的機能の高度発揮に重要な役割を果たしている国有林野の特性を踏まえ、森林計画の策定、多様で健全な森林整備、森林の適切な保全管理、荒廃地の復旧などの治山事業を着実に推進しました。

### ア 重視される機能に応じた管理経営の推進

公益的機能の維持増進を目的として、適切に森林整備を実施したほか、長伐期化や針広混交林化などによる多様で健全な森林の整備を推進しました。

#### 管内の機能類型区分及び面積

森林と人との共生林  
22.7万ha  
(35%)

資源の循環利用林  
1.2万ha(2%)

水土保持林  
41.6万ha(63%)

合計  
65.5万ha



平成23年4月1日現在

#### 間伐による豊かな下層植生の導入



かなざわだんど  
場所：愛知県豊田市 金沢段戸国有林  
愛知森林管理事務所

### イ 路網の整備

森林の適切な整備・保全や間伐材の搬出・利用を行うため、林地の保全に十分配慮し、間伐材等の木材利用も図りながら低コストで丈夫な路網整備を進めました。

#### 作業道等の新設状況

(単位:km)

区分	22年度実績	(参考)21年度実績
作業道	14.0	8.2
林道	2.4	3.2

#### 路網の整備



木製ガードレール等の設置  
場所：長野県北佐久郡軽井沢町  
ながくらやま  
長倉山国有林 東信森林管理署

### ウ 治山事業の実施

安全で安心できる暮らしの確保に向け、荒廃地の早期復旧や保安林の整備を計画的に進めました。

また、間伐材等の木材利用、生物多様性の保全に資する取り組み等を積極的に進めました。

#### 治山事業の状況

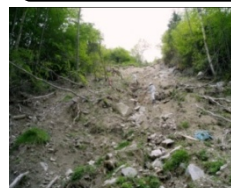
区分	22年度実績	(参考)21年度実績
けい かん こう 溪 間 工	61基	170基
さん ぶく こう 山 腹 工	86ha	81ha

#### 荒廃地の復旧



地域の子供達も参加した荒廃地への植樹作業  
あらふねやま  
場所：長野県佐久市 荒船山国有林  
東信森林管理署

#### 治山施設の整備による荒廃地の早期復旧



場所：長野県飯田市 松川入地区  
伊那谷総合治山事業所

## (2) 森林の流域管理システムの下での管理経営

「森林の流域管理システム」は、流域を基本単位として、民有林・国有林を通じた森林・林業・木材産業の関係者から、木材利用者までの一体的な連携により健全な森林の整備と資源の循環利用を図る取り組みです。

平成22年度に策定した「第四次国有林野事業流域管理推進アクションプログラム」に基づき実施メニューを作成し、民有林関係者やボランティア団体等と連携した森林整備等の活動など、管内14流域それぞれの特徴的な取り組みを行いました。

### 流域管理推進アクションプログラムの実施

当年度は計86の実施メニューを実施し、森林環境教育、森林整備を通じた上下流住民の交流、流域住民参加による台風被害の復旧、植生復元活動などに取り組むとともに、低コスト・高効率作業システムの推進、地域と連携したニホンジカ被害対策の推進などを実施しました。

#### 植樹祭



分収造林契約地「悠久の森」での植樹祭  
ふるとうげ  
場所：岐阜県高山市 古峠国有林  
飛騨森林管理署

#### ニホンジカ被害対策



場所：長野県茅野市  
ひがしだけ  
東岳国有林  
南信森林管理署

## (3) 国民の森林としての管理経営

国有林野の多くは、国土保全上重要な奥地脊梁山地や水源地域に分布し、国民の生活の安全・安心にとって重要な役割を果たしており、国民共通の財産を守る活動を行いました。また、都市近郊にも分布し保健休養の場や身近な森林とのふれあいの場として多くの人々に親しんでいただけるよう取り組みました。

### ア 外来植物の除去活動

外来植物は繁殖力が強く貴重な高山植物を淘汰したり、在来種と交雑するなど、生物多様性を低下させる恐れがあります。そのため、高山植物保護パトロール員やボランティアが、森林保護員の指導を受けて外来植物の除去を実施しました。

#### 外来植物の除去活動



場所：富山県中新川郡  
立山町  
フナ坂国有林  
富山森林管理署

### イ 森林環境教育の推進

小中学生を中心に「森林環境教育」などの活動を林内で実施しました。平成22年度は183回開催し、延べ11,204名が参加しました。

小中学校の教職員の皆さんを対象に、森林学習及び林業体験を内容とした「森林・林業体験学習研修会」を長野県、愛知県と共催し、計5回行いました。

家族で森林に親しむ企画として、「親子の森林体験教室」及び「親子森林探検隊」を開催し、22家族、64名が参加しました。

学校等と協定し、森林教室や森林体験活動等の場に国有林野を提供しました。

(遊々の森：管内12箇所)

名古屋市民等を対象に、森林の持つ多面的機能等について、楽しみながら理解を深める「森林ふれあい講座」を8回開催しました。

#### 「遊々の森」を活用した森林環境教育



場所：長野県諏訪郡  
富士見町  
にしだけ  
西岳国有林  
南信森林管理署

#### 教職員のための研修



場所：長野県上水内郡信濃町  
くろひめやま  
黒姫山国有林  
北信森林管理署

#### 森林ふれあい講座



場所：愛知県豊橋市  
とよはし  
豊橋国有林  
愛知森林管理事務所

## ウ 森林整備・保全への国民参加

森林づくりを希望するNPO団体等と協定を締結し森林整備活動や森林とのふれあい活動を行う場として国有林野を提供しました。

(ふれあいの森：管内11箇所)

国有林野のフィールドを活用しているNPO団体等の活動が活発になるよう、団体間の情報交換、国有林へのニーズの把握のため「森林ボランティア・NPO連携推進会議」等を実施しました。

都市住民の方を対象に公募し、森林とふれあい、森林整備や自然環境保全活動等に参加いただきました。(「名古屋シティ・フォレスター(NCF)事業」を12回実施)

重要文化財に指定されている神社仏閣等の歴史的な木造構造物や、各地の祭礼行事、伝統工芸等次代に引き継ぐべき木の文化を守るため「木の文化を支える森」(5箇所)において協議会会員等による下刈作業などを行いました。

### ふれあいの森



場所：愛知県北設楽郡設楽町  
たんど  
段戸国有林  
愛知森林管理事務所

### 森林ボランティア・NPO 連携推進会議



場所：長野県松本市  
アルプス公園  
木曾森林環境保全  
ふれあいセンター

### 名古屋CF事業



場所：岐阜県岐阜市  
きんかざん  
金華山国有林  
岐阜森林管理署

### 木の文化を支える森



場所：長野県木曾郡南木曾町  
みなみあらかぎ  
南園国有林  
木曾森林管理署南木曾支署

## エ 双方向での情報の受発信による地域情報や要請の把握及び森林計画への反映

森林計画の策定に当たり、地域の皆さんとの懇談会の開催や次期森林計画についての森林管理署の考え方の公表、意見募集を行い、地域情報や国有林に対する要請を把握し、森林計画に反映させるよう双方向での情報の受発信に取り組みました。

平成22年度は、23年度樹立計画区に該当する神通川(富山署)、木曾谷(木曾署・南木曾支署)及び飛騨川(岐阜署)の3つの森林計画区において、学識経験者や自然環境等の地域情報に精通した「国有林アドバイザー」の参加も得て懇談会を実施しました。

一般公募により選定した「国有林モニター」を対象に、国有林の取組等に対するアンケート調査や現地視察会・モニター会議を実施しました。

### 地区懇談会の開催



場所：富山県富山市  
富山森林管理署

### 国有林モニター現地視察会



場所：岐阜県中津川市  
木曾ヒノキ備林  
かしもうらきそ  
加子母裏木曾国有林  
東濃森林管理署

## 2 国有林野の維持及び保存

### (1) 森林の巡視、病虫害の防除等適切な森林の保安全管理

広範囲にわたる国有林野について、林野火災、不法投棄等を防ぐため、地元自治体やボランティア団体等と連携しながら森林の巡視等を実施するとともに、森林病虫害等の被害対策にも取り組みました。

#### ア 森林の巡視及び境界の保全

グリーン・サポート・スタッフ(97名)が、管内の日本百名山を中心に、利用マナーの指導、歩道・看板の整備、清掃活動等を実施しました。

高山植物等保護対策協議会の活動の一環として、ボランティア団体等の協力も得て「高山動植物保護パトロール」を8月1日から10日にかけて実施しました。(延べ209人)

気象害や登山者の踏み荒らし等により高山植物の荒廃等が進行した箇所について、関係機関やボランティア団体等と連携し、植生復元活動を実施しました。

#### 森林パトロール



うつくしがほら  
場所:長野県松本市 美ヶ原国有林  
中信森林管理署

#### イ 野生鳥獣被害の防除

ニホンジカ、カモシカ、ツキノワグマ等の獣害対策として防護柵、食害防護ネットの設置等を行いました。

また、南アルプスや八ヶ岳周辺地域のニホンジカによる農林被害が広域に及ぶ地域では、関係市町村や、地元猟友会等、地域と一体となって生息状況の把握などの調査や、被害防護柵の設置及び罠等を用いた捕獲を行うとともに、被害の現状と対策の必要性について一般市民の理解を深めるため、シンポジウムを開催しました。

#### シカ被害対策



場所:長野県諏訪郡下諏訪町  
ひがしまた  
東俣国有林 南信森林管理署

#### クマ被害対策

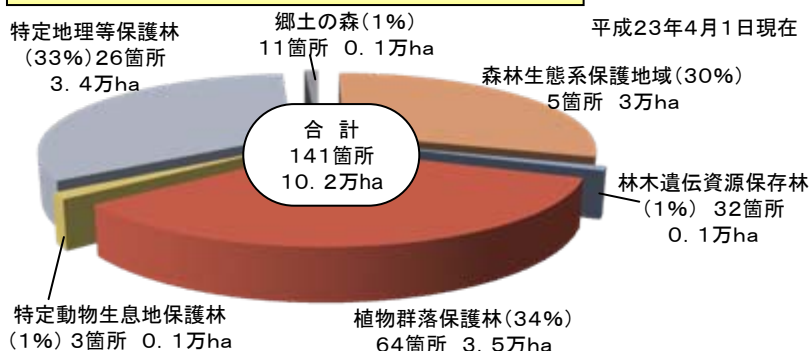


場所:長野県木曾郡木曾町  
すえかわ  
末川国有林 木曾森林管理署

### (2) 保護林など優れた自然環境を有する森林の維持・保存

優れた自然環境を有する森林や希少な動植物が生息・生育する国有林野については、保護林として森林生態系を維持・保存するとともに、設定後の森林や動物等の状況変化や、これら動植物の保全・管理や区域の見直し等に役立てるモニタリング調査を実施しました。

#### 保護林の設定及び保全・管理の推進



#### 称名滝特定地理等保護林



場所:富山県中新川郡立山町 ブナ坂国有林  
富山森林管理署

貴重な野生動植物の保護を進めるため、「希少野生動植物種保護管理対策」や「保護林等整備・保全対策」等を実施し、生息・生育状況の把握や生息・生育環境の保全、整備等を進めました。



# 3 国有林野の林産物の供給

## (1) 計画的な収穫の実施

公益的機能の維持増進に向けた管理経営を進めることを基本として、自然環境の保全等に十分配慮をしながら、木材の持続的・計画的な供給に努めました。

地域の伝統行事への木材の供給、歴史的木造建造物の修繕、伝統工芸等に必要なた「木曾ヒノキ」などを、天然林の維持を図りつつ供給しました。

### 収穫の実施状況等

#### 収穫の実施状況

(単位:千m3)

区分	22年度実績	(参考)21年度実績
主伐	73	40
間伐	535	628
計	608	668

ひだしゆんけいぬり あじろざいく あららぎひのかさ

飛騨春慶塗、網代細工、蘭檜笠など地域の伝統的工芸品用の資材として木曾ヒノキやネズコなどを供給しました。

国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている「南木曾町妻籠宿」内にある建物について、板葺き石置き屋根の葺き替え資材として天然サワラを供給しました。

#### 伝統建造物への木材の供給



場所等:

- (上) 屋根葺き替え用天然サワラ 長野県王滝村
- (下) 屋根葺き替え中の妻籠宿本陣「人馬会所」 長野県木曾郡南木曾町

## (2) 林産物等の販売

一般材や低質材を安定的に供給する「システム販売」を推進し、十分に利用されてこなかった間伐材等の未利用材の利用拡大と木質バイオマスエネルギー利用に努めました。

### 安定的な販売の実施

#### 販売の実施状況

(単位:千m3)

区分	22年度実績	(参考)21年度実績
立木販売	9	23
素材販売	175	172
計	184	195

間伐等に伴い生産される一般材や低質材を安定的かつ円滑に販売するため、工場等との協定に基づく販売（システム販売）を行いました。

平成22年度は16件の協定により103,456m3の供給を行いました。

#### 木質バイオマスのエネルギー利用

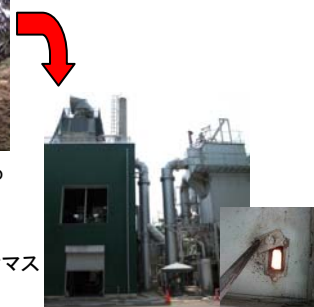
間伐により発生する端材や枝条などの低質材等をシステム販売により木質バイオマス発電所に安定的に供給しました。



グラブ付きトラックによる積み込み



販売先での粉碎機によるチップ加工



木質バイオマス発電施設

場所: 長野県長野市 戸隠山国有林(上)  
長野県長野市(中・下)  
北信森林管理署

# 4 国有林野の活用

## (1) 国有林野の貸付・売払い

国有林野の所在する地域の社会経済状況、住民の意向等を踏まえ、地域の産業振興、住民の福祉の向上に資するよう、地元自治体等に対して国有林野の貸付・売払いを行いました。

### 国有林野の貸付、林野・土地の売払い

#### 林野・土地の売払い状況

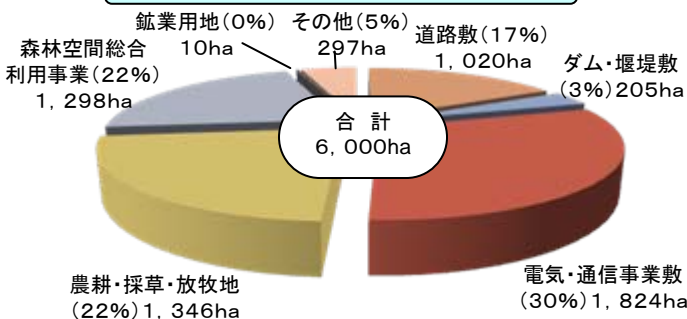
(単位:ha)

区分	22年度実績	(参考)21年度実績
林野	80.3	74.1
土地	0.7	0.5
計	81.0	74.6

庁舎、公務員宿舍の集約化等により余剰となった敷地の活用を図るなど、事業実行上不可欠なものを除き売払いを実施しました。

平成22年度は木曾町から木工品の商品展示場、木工体験の場など、森林環境教育の活動拠点施設として取得の要望があり、0.58haを売払いました。

#### 平成22年度末 国有林野の貸付割合



#### 土地の売払い



※割合については四捨五入により、100%とならない場合がある。

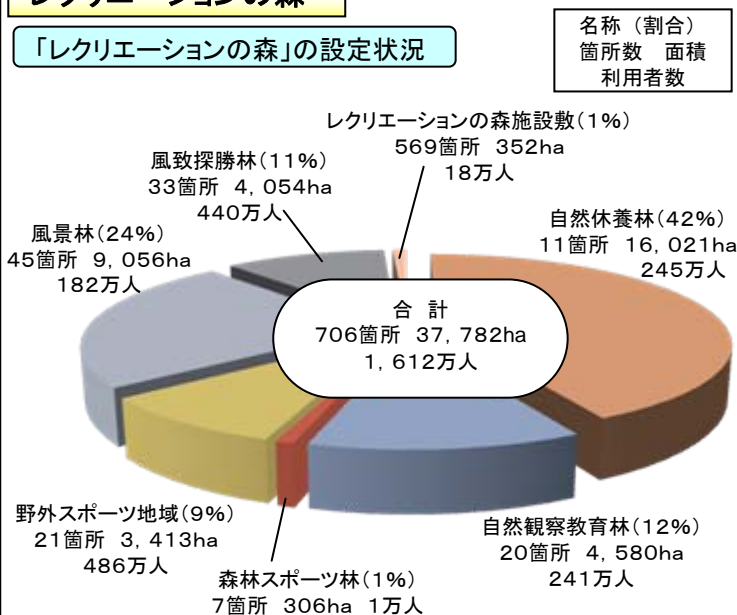
場所：長野県木曾郡木曾町  
木曾森林管理署

## (2) 「レクリエーションの森」の利用の推進

優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林を「レクリエーションの森」として広く国民の皆さんに提供するとともに、その快適な利用を図るためボランティア等の協力も得ながら歩道等の整備を行いました。

### レクリエーションの森

#### 「レクリエーションの森」の設定状況



#### 自然休養林の位置図



場所：岐阜県中津川市付知峡自然休養林 (東濃森林管理署)



場所：長野県木曾郡上松町赤沢自然休養林 (木曾森林管理署)

場所：愛知県瀬戸市定光寺自然休養林 (愛知森林管理事務所)

注：箇所数、面積は平成23年4月1日現在の数値であり、利用者数は平成22年度実績（延べ人数）である。利用者数については、種類ごとの四捨五入のため合計人数と一致しない。

# 5 その他国有林野の管理経営

## (1) 地域振興等への寄与

計画的な木材の供給、事業の民間委託等を通じた事業者の育成や就労の場の提供、国有林野の貸付や売払い、森林空間の総合利用などを通じて、地域産業の振興、地域の活性化、住民の福祉の向上等へ寄与しています。

### 地域振興への寄与

### 森林とのふれあいの場や森林づくり活動のためのフィールドの提供

森林とのふれあいの場や森林づくり活動等へのフィールドの提供等を通じ、森林の保健・文化・教育的利用を推進するとともに観光等地域の振興、住民の福祉の向上に貢献しました。



てるおかやま  
場所：長野県飯山市 照岡山国有林ほか  
信越トレイル（北信森林管理署）



おおさわの  
場所：富山県富山市 大沢野国有林  
社会貢献の森（富山森林管理署）

## (2) 技術の向上や人材の育成

森林に対する多様化・高度化するニーズに対応するため、大学等とも連携して、森林施業技術等の開発・普及や人材育成のための研修・技術検討会等を開催しました。

### ア 大学等との連携による最新の学術的知見の導入

平成22年3月に信州大学農学部との間で締結した、生物多様性の保全等を担う人材の育成等に関して連携・協力を進めるための協定に基づき、生物多様性保全に関する研修会等を実施しました。

### 信州大学農学部での研修



場所：長野県上伊那郡南箕輪村 信州大学農学部

### イ 研修や技術検討会等を通じた職員の能力向上

「国民の森林」を管理するのにふさわしい人材を育成するため、森林・林業に関する専門的な知識の取得や技術の向上、関係法令等の理解を深めるため、各種研修や現地検討会等を実施しました。

### 路網作設、山地災害調査方法の現地検討会



場所：長野県諏訪郡下諏訪町  
ひがしまた  
東俣国有林 南信森林管理署



場所：長野県木曾郡南木曾町  
なぎそ  
南木曾国有林  
木曾森林管理署南木曾支署

### ウ 林業事業者の育成

低コスト・高効率作業システムの現地検討会等への参加促進、林業へ新規参入を目指す建設業者等への伐木造材作業等の技術指導、各県との情報交換等により、民有林行政とも連携して林業事業者の育成に努めました。

### チェーン目立て、路網現地検討会



場所：岐阜県下呂市  
森林技術センター



場所：岐阜県下呂市 小川長洞  
国有林 森林技術センター

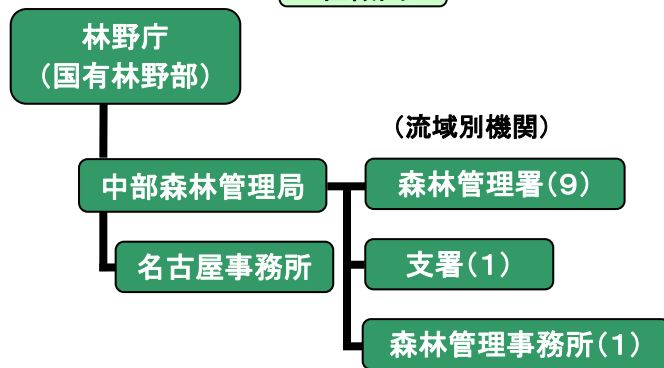
# 6 国有林野の事業運営

## 国有林野の事業運営

管内森林（約243万ha）の約3割を占める66万haの国有林野について、11の森林管理署等により労働安全衛生の確保などに取組みながら、効率的な管理経営に努めています。

職員数 627人(平成23年4月1日現在)

### 組織図



## 用語の解説

あ 行	おんしつこうか 温室効果ガス	地球から宇宙への赤外放射エネルギーを大気中で吸収して熱に変え、地球の気温を上昇（地球温暖化）させる効果を有する気体の総称。代表的なものに二酸化炭素（CO <sub>2</sub> ）、メタン（CH <sub>4</sub> ）、一酸化二窒素（N <sub>2</sub> O）等がある。これらの排出には人間の生活・生産活動が大きく関与している。
か 行	かんばつ 間伐	育成段階にある森林において樹木の混み具合に応じて育成する樹木の一部を伐採（間引き）し、残存木の成長を促進する作業。この作業により生産された丸太が間伐材。一般に、植栽しておよそ15年後以降、主伐までの間に育成目的に応じて間断的に実施。
	グリーン・サポ ート・スタッ フ	入林者へのマナー啓発活動や不法投棄防止、標識や登山道の簡易な整備活動等を目的に平成18年度から開始された制度。（GSS：森林保護員）
	けいかんこう 溪間工	谷止工、護岸工等の溪流内に設置する治山施設の総称であり、土石流等の発生により荒廃した溪流を安定させ、また荒廃を未然に防止して森林を保全するとともに、下流域への土砂の流出を防ぐことを目的とする。
	こうきよけんちくぶつ 公共建築物等にお ける木材の利用の 促進に関する法律	公共建築物木材利用促進法（平成22年5月成立、同年10月施行） 木材の利用の確保を通じた林業の持続的かつ健全な発展を図るため具体的・効果的に木材利用の拡大を促進することを目的とする。 低層の公共建築物については原則として木造化を図ることなどを明記。
	こうせいりんぎょう 高性能林業機械	従来のチェーンソーや集材機等に比べて、作業の効率や労働強度の軽減等の面で優れた性能をもつ林業機械。 主な高性能林業機械は、フェラーバンチャ、スキッド、プロセッサ、ハーベスタ、フォワード、タワーヤード、スイングヤード。
	こくゆうりん 国有林	政府が保管管理する森林。面積は760万haであり、我が国の国土の約2割、森林面積の約3割を占める。
	国有林モニター	一般から公募により30名程度（中部局）の者を選び、国有林における取組等について、幅広く情報を提供するとともに、アンケートや意見交換を通じていただいた意見・要望等を国有林野の管理経営に活かすための制度。
さ 行	さんぶくこう 山腹工	山腹に発生した崩壊地等の復旧及び崩壊等の予防のため、斜面の安定を図り、植生の導入及び森林を造成することを目的として行う工事を山腹工事といい、侵食を防止し斜面の安定を図るための山腹基礎工と、植生を導入し森林の造成を図るための山腹緑化工とがある。
	はんばい システム販売	需要開発が必要な間伐材等の一般材及び低質材について、国が企画競争により選定した製材工場や合板工場等と協定を締結し、それに基づいて国有林の木材（立木や丸太）を安定的・計画的に供給する販売方法。
	しゅうすいせい 集水井	地すべり地域の深層部で最も地下水が集中している付近に縦井戸を設置して、地下水を集水及び自然排水させる井戸のこと。
	じゆん 准フォレスター	フォレスターが本格的に活動するまでの間、都道府県や国の職員等のうち森林計画制度に関する研修を受けた者を准フォレスターとし計画策定等の支援業務を行う。
	しんこうこんこうりん 針広混交林	針葉樹と広葉樹が混じり合った森林。

さ 行	しん のうりん すいさんしやうもく 新農林水産省木 ざい りやう すいしん けいかく 材利用推進計画	公共建築物木材利用促進法に基づく「公共建築物における木材の利用の促進のための計画」として位置づけ平成22年12月に策定。 旧農林水産省木材利用推進計画に計画目標の一つに「10年後の木材自給率50%以上」を追加し、取組方針として低層の公共建築物は原則木造化を図るなどを追加。
	しんりんきやうどせいぎやう だんち 森林共同施業団地	木材の利用推進や健全な森林管理のため、間伐等の森林整備や効率的な路網整備を民有林と国有林が共同して取り組むこと。
	しんりんせいび 森林整備	森林施業とそのために必要な施設（林道等）の作設、維持を通じて森林を育成すること。
	しんりんけいかく 森林計画	水源かん養、自然環境の保全、林産物の供給など多面的な機能を発揮させるため、森林の管理経営の基本方針や必要な森林施業（造林、保育、伐採等）等について定める計画。 森林管理局長が策定するものは、「森林法」に基づき流域ごとに10年間の森林整備の目標等を定める「国有林の地域別の森林計画」、「国有林野の管理経営に関する法律」に基づき5年間の国有林野の管理経営の考え方や伐採方法等の事業の総量等を流域ごとに定める「地域管理経営計画」等がある。 中部森林管理局管内には、14の森林計画区（流域）がある。
	しんりん りゆういき かんり 森林の流域管理 システム	流域を基本的な単位として、その流域内の市町村、林業・木材産業等の様々な関係者による協議・合意の下で、森林整備から木材の生産、加工、流通にわたる川上から川下の連携を進め、民有林と国有林を通じて適切な森林整備と林業、木材産業の活性化を総合的に展開しようとする取組。
しんりん りんぎやうさいせい 森林・林業再生 プラン	平成21年12月に農林水産省が今後10年間を目途に、我が国の森林・林業を早急に再生していくための指針として「森林・林業再生プラン」を策定。10年後の木材自給率50%以上を目指すべき姿とした。 その後検討委員会における論議をへて、プランの実現に向けた具体的な方策を明らかにした「森林・林業の再生に向けた改革の姿」が平成22年11月にまとめられた。 平成22年6月に閣議決定された「新成長戦略」において、「国家戦略プロジェクト」の一つに位置付けられている。	
せいぶつたやうせい 生物多様性	生物の間に見られる変異性を総合的に指す言葉で、生態系（生物群集）、種、遺伝子（種内）の3つのレベルの多様性により捉えられる。従って、生物多様性の保全とは、様々な生物が相互の関係を保ちながら、本来の生息環境の中で繁殖を続けている状態を保全することを意味する。	
た 行	ちやうばつき 長伐期	通常の主伐（林木の収穫のための伐採）の林齢（例えばスギの場合50～60年程度）のおおむね2倍以上の年齢で主伐を行うこと。
	てい こうこうりつ 低コスト・高効率 さぎやう 作業システム	路網と高性能林業を、地形・地質等を踏まえ、効率的に組み合わせ、低コスト化を図る取組。
	ていしつざい 低質材	製材、合板等に不向きな木材（細い木、曲がった木、芯の腐った木）。
	てんねんりん 天然林	人の手をほとんどかけていない自然の森林。母樹から地表へ種子が落下、着床した後、発芽・生長してできる森林。
は 行	ふれあいの森 もり	ボランティア団体等と森林管理署等との間で協定を締結し、国有林をフィールドとして提供して自主的な森林整備や森林とのふれあい活動等を行う制度。
	ほあんりん 保安林	水源かん養、土砂の崩壊その他の災害の防備、生活環境の保全・形成等、特定の公共目的を達成するため、農林水産大臣又は都道府県知事によって指定される森林。それぞれの目的に沿った森林の機能を確保するため、立木の伐採や土地の形質の変更等が規制される。その種類は17種類ある。
	ほごりん 保護林	原生的な天然林や、貴重な動植物の保護、遺伝資源の保存等を目的として、国有林野内において区域を定め、禁伐等の管理経営を行うことにより、森林を保護する制度。森林生態系保護地域、植物群落保護林等いくつかのタイプに区分される。
ま 行	みどり かいろう 緑の回廊	保護林相互をつなぎ、野生動植物の生息・生育地を結ぶ移動経路を確保するもので回廊内の保護林以外の天然林の適切な保全や人工林における広葉樹の導入等の施業など、野生動植物の生息・生育環境に配慮した管理経営を実施。
	みんゆうりん 民有林	国有林以外をいい、個人、会社、社寺等が所有する私有林、都道府県、市町村、財産区等が所有する公有林に区分される。
	もくしつ 木質バイオマス	木材からなるバイオマス（再生可能な、生物由来の有機性資源）のこと。
や 行	ゆうゆう もり 遊々の森	学校等と森林管理署等が協定を結び、国有林の豊かな森林環境を自然体験や自然学習の場として子供達に提供するもの。
ら 行	りゅういけいかり すいしん 流域管理推進 アクション・プログラム	流域管理システムの一層の推進を図るため、国有林が流域ごとに先導的・積極的に取り組む行動計画。
	りんどう 林道	原則として不特定多数の者が利用する恒久的公共施設で、森林整備や木材生産を進める上で幹線となる道。国有林野事業の管理経営のために森林管理署等が主に国有林野内に開設する国有林林道と、民有林の林業等のために、市町村や森林組合等が民有林内に開設する民有林林道がある。